

# 12/7(水)の行事



報道発表資料の配付日時 12月 1日(木)

<p>発表項目 (行事名)</p>	<p>2022青年アグリフォーラムin十勝の開催について</p>
<p>概要</p>	<p>十勝農業の中核を担う農業青年や関係者が一堂に会し、農業・農村生活改善の知識・技術などの情報交換と、相互の交流を深めることにより、農業経営者として必要な資質の習得を目指すとともに、青年農業者からのメッセージを広く発信し、その効果を管内に波及することを目的として、「2022青年アグリフォーラムin十勝」を開催しますので、お知らせします。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 日 時 令和4年12月7日(水)11:30~14:45(受付 11:00~)</p> <p>2 場 所 十勝総合振興局 3階 講堂(帯広市東3条南3丁目)</p> <p>3 主 催 「2022青年アグリフォーラムin十勝」実行委員会 十勝総合振興局</p> <p>4 参集範囲 青年農業者、農業研修生、農業大学校生農業高校生、一般、 農業関係機関及び団体の担い手育成関係者</p> <p>5 内 容 プロジェクト発表、交流プログラム(グループトーク) (詳細は別添開催要領を参照)</p> <p>6 後 援 北海道教育庁十勝教育局、十勝地区農業協同組合長会、 十勝指導農業士会、十勝農業士会</p>
<p>参 考</p>	<p>青年農業者(グループ)が取り組んできたプロジェクト成果等を発表します。 優秀な発表者については、令和5年(2023年)1月26日、27日に札幌市で開催される「北海道青年農業者会議」において、十勝代表として発表します。</p>
<p>報道(取材)に当たってのお願い</p>	<p>取材に当たっては、マスクの着用など、新型コロナウイルス感染症拡大防止にご協力をお願いいたします。</p>
<p>他のクラブとの関係</p>	<p>同時配付 同時レク 記者レク</p>
<p>そ の 他</p>	
<p>担 当 (連絡先)</p>	<p>北海道十勝総合振興局産業振興部農務課農業経営係 (担当:岡田) TEL0155-27-8612(内線2719)</p>

# 「2022 青年アグリフォーラム i n 十勝」開催要領

## 第 1 趣 旨

十勝農業の中核者として実践的な活動を推進している農業青年や関係者が一堂に会し、農業・農村生活改善の知識・技術などの情報交流を図り、相互の交流を深めることにより、農業経営者として必要な資質の習得を目指すとともに、青年農業者からのメッセージを広く発信することにより、その効果を管内に波及することを目的とする。

## 第 2 主 催

「2022 青年アグリフォーラム i n 十勝」実行委員会、十勝総合振興局

## 第 3 後 援

北海道教育庁十勝教育局、十勝地区農業協同組合長会、  
十勝指導農業士会、十勝農業士会

## 第 4 日 時

令和 4 年（2022）12 月 7 日（水）11：30～14：45（受付 11：00～）

## 第 5 会 場

北海道十勝総合振興局 3 階講堂（住所 帯広市東 3 条南 3 丁目）  
※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、会場に集合しての開催が中止となった場合、オンラインでの開催（会場から Zoom による配信）となります。

## 第 6 参集範囲

青年農業者、農業研修生、農業大学校生、農業高校生、一般、農業関係機関及び団体の担い手育成関係者

## 第 7 内 容

### 1 プロジェクト発表

青年農業者によるプロジェクト発表を、「園芸・特産物」「土地利用型作物」「畜産経営」「地域活動」の 4 部門に分けて行う。

#### (1) 内 容

以下の部門に分けて行う。

部 門 名	発 表 の 概 要
園芸・特産物	プロジェクトの視点が、飼料作物を除く作物生産の技術又は経営改善を中心とした取組であること(野菜全般、果樹全般、花き全般、特産作物等)
土地利用型作物	プロジェクトの視点が、飼料作物を除く作物生産の技術又は経営改善を中心とした取組であること(水稻、麦、大豆、てん菜、加工用甘藷、加工用馬鈴薯、そば、なたね等)
畜産経営	プロジェクトの視点が、畜産経営(飼料作物含む)の技術又は経営改善を中心とした取組であること(畜産全般)
地域活動	学習や地域実践活動について、個人、グループで共同して消費者や地域を巻き込んだ取り組みであること又は、プロジェクトの視点が、農村生活の改善や農村活性化を中心とした取組であること(食育、啓発活動等)

※ 複数の部門にまたがるプロジェクト活動については、発表者が部門を選択することとし、発表の申込み以降の変更は不可とする。

※ 農業特別専攻科、北海道立農業大学校及び農業高校の学生について、アグリメッセージ及びプロジェクトの発表は認めるが、審査(顕彰)対象とはしない。

## (2) 発表方法

発表時間は、1人10分間とする。なお、実物(演示物)を使用している発表は認められないので発表の方法について工夫すること。

## (3) 発表の申込み

発表者は、プロジェクト発表申込書(様式2)に必要事項を記載の上、令和4年(2022年)11月16日(水)までに、十勝総合振興局産業振興部農務課に提出する。

## (4) 発表資料等

ア 発表者は、プロジェクト発表資料作成上の留意事項(別紙1)を踏まえて資料を作成の上、開催日前日の午前中までに、最寄りの農業改良普及センター又は十勝総合振興局産業振興部農務課へ提出する。

イ 使用する発表機材について、発表申込用紙の「発表方法」欄に記載をする。パソコンについては振興局で用意する。

なお、パソコンを使用する場合は、データをCD-RやUSBメモリ等の記録媒体に保存して当日持参する。

## 2 アグリメッセージ

### (1) 内容

青年農業者が、日頃から取り組んでいる農業経営、地域活動、クラブ活動、ボランティア活動等の体験を通じて感じていることや青年農業者として果たす役割などについて、自身の意見を発表する。

なお、アグリメッセージの発表者は、現に就農している者とする。

### (2) 発表方法

ア 発表時間は1人7分間とする。

イ 発表は口頭のみでおこなうほか、口頭に加え、スライドを用いた発表も認める。スライドの操作は、補助者がワイヤレスデバイスを用いて操作する。※ワイヤレスデバイスは振興局が用意したものを使用する。

ウ 発表者の服装は、スーツまたは、主張する意見の内容と合っているものとする。

エ 発表はステージ上のみ行う。演台は設置せず、ワイヤレスマイクを使用する。

オ スライドの使用にあたり、動画・音声の使用は認めない。

カ 発表者は申込書に「スライドの使用、補助者の有無」を記載する。

### (3) 発表の申込み

発表者は、アグリメッセージ申込書(様式3)に必要事項を記載の上、令和4年(2022年)11月16日(水)までに、十勝総合振興局産業振興部農務課に提出する。

## 3 交流プログラム

管内の青年農業者等が少人数のグループに分かれ、将来の夢などについて自由に語り合う、グループトークを通じて交流を図る。

## 第 8 参加者の取りまとめ

### (1) 青年農業者

出席者名簿（様式 1-1）により、農業改良普及センター本所・各支所を経由して、令和 4 年（2022 年）11 月 24 日（木）までに、十勝総合振興局産業振興部農務課に提出する。

### (2) 関係機関

出席者名簿（様式 1-2）により、令和 4 年（2022 年）11 月 24 日（木）までに、十勝総合振興局産業振興部農務課に提出する。

## 第 9 審 査

### (1) 審査員

審査員は、十勝指導農業士会、十勝農業士会十勝農業協同組合連合会、十勝農業試験場、畜産試験場及び十勝農業改良普及センターがあたる。

### (2) 審 査

審査員は、別表の評価基準に基づき審査を行う。

## 第 10 頭 彰

頭彰は、次のとおり授与する。

部 門	賞 名	頭 彰 数
アグリメッセージの部	最優秀賞	1 点 以 内
	優 秀 賞	数 点
プロジェクト発表の部	最優秀賞	各部門 1 点以内
	優 秀 賞	数 点

## 第 11 表彰および北海道青年農業者会議の派遣

(1) プロジェクト発表等の優秀な者に対し賞を授与する。

(2) 発表者には、それぞれ記念品を授与する。

(3) 受賞者の中から代表（発表）者を選定し、北海道青年農業者会議主催の全道大会（令和 5 年（2023 年）1 月 26 日（木）～1 月 27 日（金）北海道自治労会館（札幌市北区北 6 条西 7 丁目））に派遣する。

なお、派遣者はアグリメッセージ 1 名以内、プロジェクト発表 3 名以内（1 部門 2 名以内）とする。

### 【事務局】

北海道十勝総合振興局産業振興部農務課

帯広市東 3 条南 3 丁目 Tel : (0155)27-8612

Fax : (0155)22-0183

# 日 程 表

11:00	受 付
11:30 ～ 11:40	開 会 式 1 あいさつ 2 審査員紹介 3 日程説明
11:40 ～ 13:10	プロジェクト発表
13:20 ～ 14:20	【交流プログラム】 『グループトーク』
14:25 ～ 14:45	表 彰 式 1 成績発表 2 表 彰 3 審査講評

※アグリメッセージ及びプロジェクト発表の申し込み数に応じて、時間が変更となる場合があります。

別表 1 - 1

**プロジェクト発表評価基準**  
(園芸・特産作物、土地利用型作物、畜産経営)

区 分		評 価 項 目
発 表 内 容	目 的 動 機	1 プロジェクトの課題選定理由、目的は適切か 2 プロジェクトは、わが家や地域の課題解決に役立つか
	実 施 経 過	1 計画は合理的であるか 2 実践過程で思考力、創造力、観察力が十分生かされたか 3 科学的に遂行されたか 4 指導者の助言や参考資料などの活用はされたか
	結 果	1 目的は達成できたか 2 実践を通じ知識、技術が習得されたか 3 実用性や地域への普及性はどうか 4 今後の目標や改善点が明確にされているか
発 表 要 領	表 現	1 話し方や態度はよいか 2 発表内容を参加者に理解させたか 3 おおむね制限時間内に発表されたか
	発 表 資 料 記 録 簿 等	1 発表資料はわかりやすく整理されているか 2 図表等の補助資料の準備はよいか 3 記録は正確で継続的にされたか 4 今後の経営や生活の改善資料として役立つか

別表 1 - 2

**プロジェクト発表評価基準**  
(地域活動)

区 分		評 価 項 目
発 表 内 容	目 的	1 活動目標が明確になっているか
	動 機	2 グループ活動がクラブ員や地域の農業・生活改善に役立つか
	実 施 経 過	1 計画は合理的であるか 2 リーダーの指導力やクラブ員の役割分担、協力体制はどうか 3 活動実施中の創造性、工夫性はどうか 4 地域のつながりや関係機関・団体との連携はよいか
	結 果	1 目的は達成できたか 2 クラブ員の学習や課題解決に役立ったか 3 地域社会への寄与はどうか 4 将来の活動方向が明確にされているか
発 表 要 領	表 現	1 話し方や態度はよいか 2 発表内容を参加者に理解させたか 3 おおむね制限時間内に発表されたか
	発 表 資 料 記 録 簿 等	1 発表資料はわかりやすく整理されているか 2 図表等の補助資料の準備はよいか 3 記録は正確で継続的にされたか 4 今後の活動の反省資料として役立つか

別表 2

## アグリメッセージ 評価基準

区分	評価項目
発表内容	1 青年にふさわしく身についた意見であるか
	2 現実をよく見つめた具体的な意見であるか
	3 思考力や創造性があるか
	4 明朗で建設的な意見であるか
発表方法	1 発表態度、発表要領はよいか
	2 内容は聴衆によく理解されたか



## 「2022青年アグリフォーラムin十勝」発表一覧表

発表 順番	区 分	発 表 課 題 及 び 発 表 者	市町村名	発表方法
1	プロジェクト発表 (園芸・特産作物)	<p style="text-align: center;">「なくそう、しなび～製品率向上に向けて～」</p> <p>農村青年連絡協議会</p> <p style="text-align: center;">もりた こうへい <b>盛田 康平</b></p>	芽室町	パソコン
3	プロジェクト発表 (地域活動)	<p style="text-align: center;">「「できることリスト」β版公開発表LIVE!」</p> <p>士幌町畑作農業青年ゼミナール</p> <p style="text-align: center;">こうざい るりこ <b>香西 瑠理子</b></p>	士幌町	パソコン
4	プロジェクト発表 (地域活動)	<p style="text-align: center;">農業の魅力発信と新規就農について</p> <p>北海道立農業大学校</p> <p style="text-align: center;">りゅうまえ さき <b>龍前 早紀</b></p>	本別町	パソコン

